**ハンドマイク街頭演説原稿例　　大企業・米国いいなり政治の転換を**

二〇二三年六月二○日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、通常国会が会期末をむかえました。（通常国会が閉会しました）会期末にむけ、岸田政権の重大法案について、自民・公明与党と維新、国民が修正をくりかえしながら、数々の悪法を強行しました。難民申請中の外国人を強制送還できるようにする入管法改悪や、ＬＧＢＴ当事者の声を無視した４党修正ＬＧＢＴ理解増進法など、マイノリティーへの差別を容認し、人権保障を抑制する法案の強行採決に強い怒りをもって断固抗議します。とりわけ、世論調査で６～７割が反対と回答した、保険証の廃止とマイナンバーカードへの一本化はいまからでも中止し、撤回すべきです。日本共産党はみなさんと力をあわせ、保険証の廃止の中止を引き続き強く求めていきます。

　みなさん、日本共産党は、自民、公明、維新、国民民主の「悪政４党連合」による憲法と平和と民主主義をこわす流れときっぱり対決し、この危険な流れを打ち破るために全力をつくします。来る総選挙で「悪政４党連合」の悪政の流れを断ち切るためには、市民と立憲野党のしっかりとした共闘がどうしても必要です。「市民と野党の共闘を強く大きく」との声をご一緒にあげましょう。日本共産党はこれからも共闘の再構築へ、引き続き全力を上げる決意です。市民と野党の共闘の「扇のかなめ」の役割を果たしてきた日本共産党を、今こそ強く大きくしてください。国民の命と暮らしを守る日本共産党への、さらなるご支援をよろしくお願いします。

　ところでみなさん、いま、多くの政党が「改革」という言葉を使っていますが、日本共産党以外の政党が言わない問題が二つあります。一つは「こんなアメリカ言いなりの国でいいのか」。もう一つは「こんなに財界のもうけ最優先の国でいいのか」。この二つです。岸田自公政権が進める軍事費２倍化、５年で４３兆円の大軍拡も、アメリカの求めに応じて米国主導のミサイル防衛戦略に自衛隊が参加するためのものです。財界・大企業の意向をくみ、最低賃金の大幅引き上げなど有効な賃金アップの政策をやらないどころが、低賃金・不安定労働を広げてきた「雇用の流動化」をさらにすすめようとする。このような「財界中心・アメリカいいなり」という政治の歪みに正面から切り込み、根本的な変革をめざしているのが日本共産党です。

いま日本共産党は、日本の未来を担う若者支援策として、学費半額、返済不要の奨学金の抜本拡充、さらには、奨学金返済の半分免除なども提案し、運動をすすめています。安心し、希望をもって暮らせる日本を実現するために日本共産党を大きくしてください。どうぞよろしくお願いいたします。

　政治や社会の問題、気候危機、ジェンダー平等など多彩な記事満載の「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）